

もっと知りたい街の川

河川紀行

Vol.1

宗像市【釣川】

一万年の恵み

釣川は、鞍手郡との境、宗像市吉留の山林中にその源を発し、朝町川・山田川・八並川などの支流と合流しながら宗像市の中心を流れ玄界灘へとそそぐ延長約16kmの2級河川です。

宗像にヒトが住み始めたのは約3万年～約1万年前の後期旧石器時代で、その後の縄文時代（約1万年～約2300年前）の遺跡がいくつか発見されています。

縄文時代には釣川にそって海が内陸部まで入り込んでいましたが、弥生時代（約2300年～約1700年前）になると海は退き、釣川には肥沃な平野が広がり、稲が作られ、多くの人々が定住するようになりました。以来、釣川は人々にとって重要な農業用水や大切な飲料水として利用されてきました。そんな釣川も、人口が増え、町が大きくなるにつれ、川の水は私たちの出す生活排水などによって汚されてきたのです。

太古より大きな恵みを与えてくれた「釣川」。もう一度この釣川の大切さを見直し、川を守り、親しむことを、私たちは考えていかなければと思っています。

釣川河口付近玄界灘へとそそぐ



1万年も
僕らを支えて
いるんだ

宗像市民の「生命の水」だから

宗像市民の「生命の水」。それが釣川なのです。
大切な川だからこそ、古くから護岸工事、井堰の改築、河川の浚渫などを行ってきましたが、昭和40年代以降の急速な都市開発で川の水をはじめ生物の生息環境が悪化しているのも事実です。そこで、市では、豊かな自然環境を回復させるために、様々な取り組みを行ってきました。

下水道の普及促進や高度処理の導入による水の浄化を行い、桜並木の散策コースやサイクリングロードの整備、また、水辺の階段を設置するなど、家族連れを中心に市民に親しまれる工夫を行いました。さらには、かつては多く生息していたホタルを呼び戻そうと、「ホタルの里」づくりに力を入れて、釣川の自然にふれあえる機会を増やす取り組みも行っています。



次へ

閉じる

宗像市【釣川】



公園が
いっぱい
あるんだね！



JR赤間駅

●栄町第1公園
●鍵橋

●赤間大橋
●階段

●掲示版
●案内板
●栄町第2公園

●階段

田久橋

●ウォーキングサイン

●案内板
●掲示版
●トイレ

●ウォーキングサイン

●田久桜公園

●時計

●ウォーキングサイン

●赤間桜公園



●ウォーキングサイン

●歩行者・自転車
●専用道路

辻田橋

釣川橋

●ウォーキングサイン

●徳重桜公園

●掲示版

●温度計

赤馬橋

●階段

●ウォーキングサイン

●案内板

●ウォーキングサイン

釣川を散策すると、四季の草花が楽しめます。



コイやギンブナが
いるよ！上流には
サワガニもいるん
だって

河川紀行

前へ



「釣川グリーンネット」でうるおいのある川へ

市の中心部を流れる釣川は、都市化の進展に伴って水量が減少し、水質も低下していました。釣川は貴重な飲料水源でもあることから、うるおいのある川に再生するため、平成3年度から「釣川ルネッサンス事業」に取り組み、旧玄海町と旧宗像市が合併した平成15年度からは「釣川グリーンネット事業」に取り組んでいます。具体的な取り組みとしては、水源涵養・確保のための森林保全の推進や下水道の整備などの水質浄化を進めています。また、市内の小学生を対象に、水辺教室やリサイクル石けんづくり教室などを実施し、水や環境の大切さを教えています。



宗像市役所
ホームページ

<http://www.city.munakata.fukuoka.jp/>

エコロ館では、自然に優しい「食廃油回収再生石けん」作りが行われています。誰でも参加できます。

お問合せ／宗像市役所
釣川グリーンネット推進室
TEL 0940-36-5085



閉じる

河川紀行：発行kasen@pref.fukuoka.jp

<http://www.kasen.pref.fukuoka.jp/home>
kasen@pref.fukuoka.jp